

久米島町 橋梁長寿命化修繕計画



令和7年6月



久米島町役場
建設課

1.背景と目的

久米島町は、令和4年度現在で79橋(内ボックスカルバート:58橋)の橋を管理しています。これらの橋は古いものも数多く、全体の約80%の橋梁が架設後30年を経過している状態です。また、久米島町は台風の常襲地帯であり、管理橋梁の大半(約80%)は海から1km以内に架設されていることから、海から運ばれてくる塩分の影響を受けやすく、劣化しやすい環境下にあります。

橋梁は通常、早急に修繕することで費用が抑えられ、かつ、長期間使用できるようになります。そこで、従来の「悪くなってから作り替える・大規模な補修工事をする」という“対症療法型”の維持管理手法から「悪くなる前に対策する」という“予防保全型”の維持管理手法に移行することになりました。

町民の安全で安心な生活を確保するため、限られた財源の中で効率的かつ効果的に橋梁の維持管理を行っていくために、「橋梁長寿命化修繕計画」を策定しました。

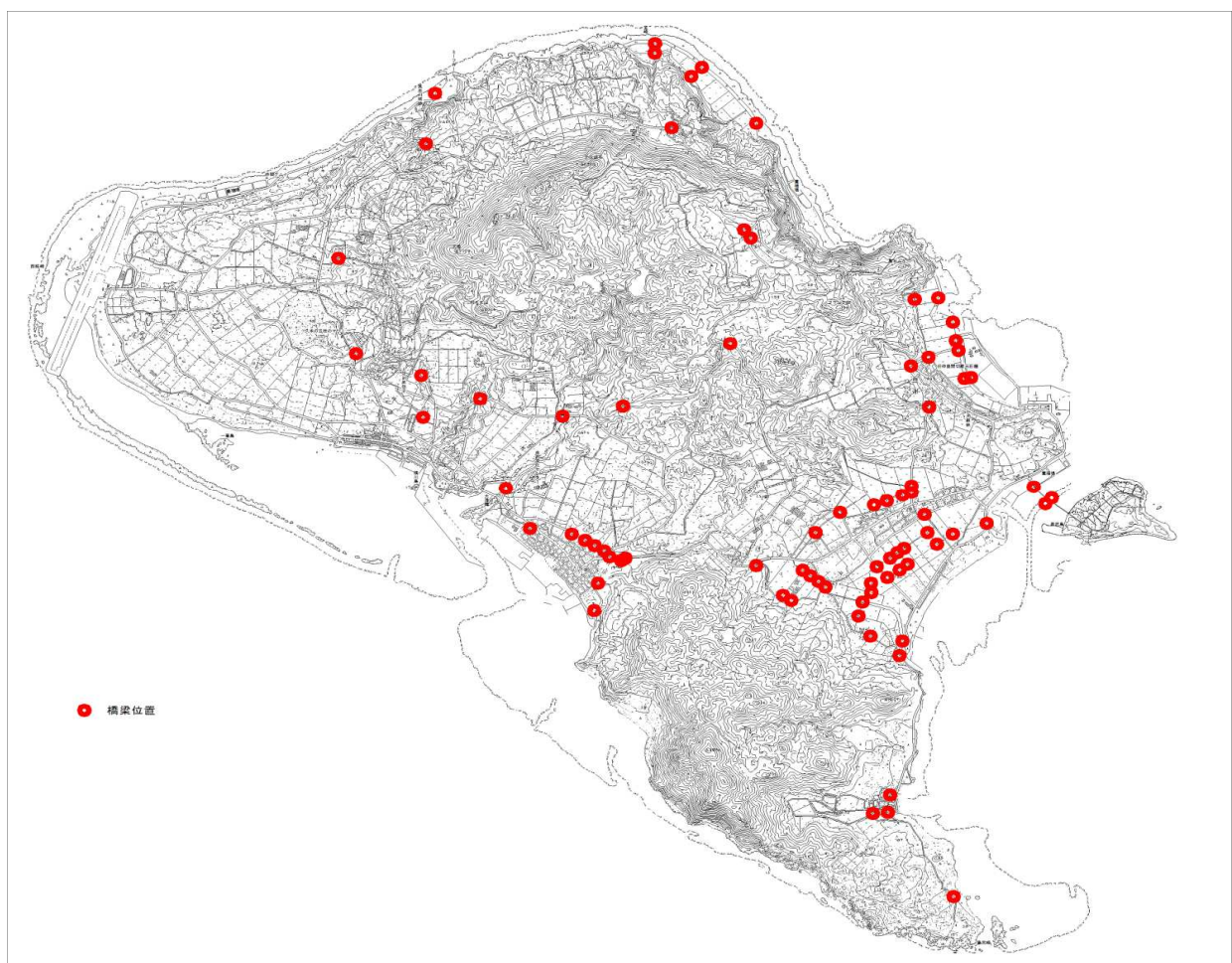


図-1 久米島町の管理する橋梁の位置図

2.久米島町の橋梁の現状

久米島町の管理する橋梁のうち約34%が建設後50年以上経過した橋梁であり、40～50年経過した橋梁も約30%あります。橋梁の耐用年数は50年といわれていることから、10年後には約65%、20年後には約80%の橋梁が耐用年数を超えます。(図-2,図-3)

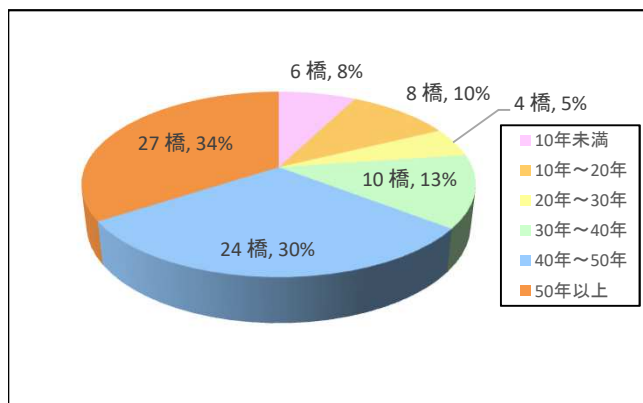


図-2 建設後の経過年数と橋梁数の関係

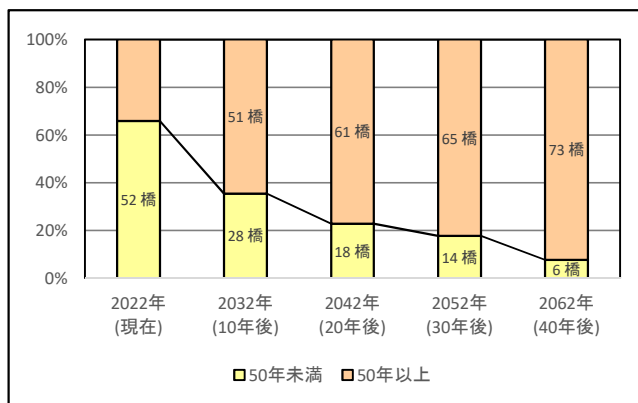


図-3 供用年数50年以上の橋梁の割合推移

また、久米島町の管理する橋梁の令和4年度時点の健全性を判定した結果、27橋(34%)は健全性Ⅰ、42橋(53%)は健全性Ⅱ、10橋(13%)は健全性Ⅲでした。(図-4)

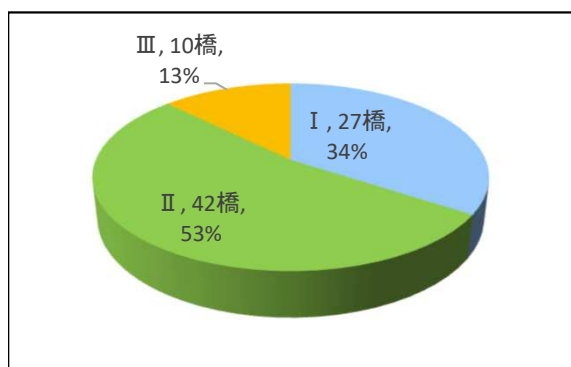


図-4 橋の健全性の割合

表-1 橋梁の健全性の判定区分

区分		状態
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

前回の定期点検(H28)で健全性Ⅲと判定された橋梁のうち4橋は橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕・更新工事を行いました。

3.橋梁長寿命化修繕計画の方針

○橋梁長寿命化修繕計画の基本方針

- ①従来の対症療法型の維持管理から予防保全型の維持管理へ転換する。
- ②ライフサイクルコスト(LCC)の低減による維持管理費の縮減を図る。
- ③予算の平準化により維持管理の推進を図る。
- ④久米島町の橋梁の現状に最適な維持管理を実施する。
- ⑤道路利用者及び第三者への被害が懸念される損傷が発見された場合には、健全度に関わらず、速やかに修繕等の対策を実施する。

○橋梁長寿命化修繕計画の効果

- ①安全で安心な交通環境を確保できる。
- ②将来の橋梁の維持管理にかかる維持管理費用・更新費用の把握ができる。
- ③維持管理費用の最適化を図れる。

○計画期間及び計画の見直し時期

長寿命化修繕計画の計画期間は令和5年から令和9年の5年間とする。

橋梁の定期点検は5年毎に実施し、点検結果と対策の実施状況を踏まえて、必要に応じて管理方針・体制の評価・修繕計画の見直しを行う。

○修繕優先順位の設定

今後10年間(長寿命化修繕計画)は点検の結果から判断される健全性で優先順位をつける。健全性が同じ場合は、道路種別・道路の利用状況・迂回路の有無・立地条件等に応じて評価される重要度の高いものを優先する。

○目標

維持管理計画においては早期に老朽化対策を行うことが効率的かつ効果的である。しかし、久米島町が管理する橋梁のうち9橋が健全性Ⅲとなっている。健全性Ⅲの橋梁の措置を早期に実施して、管理橋梁全体の健全性を向上させ、劣化が顕在化しない健全性Ⅱの段階から対策を行なえるようにすることを当面の目標とする。

○コスト縮減のための取り組み

長寿命化修繕計画を策定し、従来の悪くなってから作り替える・大規模な補修工事を行う事後的な対症療法型の維持管理方法から、損傷が軽微なうちに修繕や計画的な架替えを行う予防保全型の維持管理方法へ転換を図ります。これにより、今後10年間の橋梁の維持管理や修繕・架替え等にかかる費用を、約1千万円縮減することを目標とします。

○新技術等の活用方針

今後の定期点検や対策においては、新技術の活用について以下のとおり検討を行います。

① 定期点検

橋梁点検車や高所作業車、ロープアクセスを使用した橋梁について国土交通省の「点検支援技術性能カタログ(案)」に記載されている新技術、新技術情報提供システム(NETIS)の登録技術等の活用の検討を行います。

② 修繕

今後、対策実施する橋梁について、新技術情報提供システム(NETIS)の登録技術等の新技術の活用を含めた材料や工法等の比較検討を行います。

③ 目標

今後の点検、修繕を行う際に新技術等活用の検討を実施することとし、定期点検費用を50万円縮減すること、今後5年間の修繕に要するコストを2,000千円縮減することを目標とします。

○集約化・撤去に関する取り組み

橋梁の老朽化に伴う維持管理費の増加が想定されるなかでは、橋梁の延命化を図ると同時に、利用状況等を踏まえた集約化・撤去、機能縮小等も検討していく必要があります。利用交通量が少なく、かつ迂回路が存在する集約可能な橋梁や、通行制限が必要となるような甚大な損傷を有する橋梁等を、検討対象とします。

利用状況や代替えルートの確保等を考慮しながら、地元住民や関係機関と調整を行った上で、集約化・撤去・機能縮小について検討します。

迂回路が存在し集約が可能な橋梁について、今後5年間で1橋の集約化、撤去を検討し修繕費用および定期点検費用、約50万円程度のコスト縮減を目指します。

調査結果一覧表（1/4）

管理番号	橋梁名	路線名	道路種別	架設年次	構造形式	橋長	径間数	幅員	起点側の位置		最新点検年次	道路橋毎の診断結果	部材単位の診断結果				所 見 等
									緯度	経度			上部構造 （頂版）	下部構造 （側壁）	支承部 （ウイング）	その他	
1	謝名堂1号橋	謝名堂1号線	1級	不明	4連ボックスカルバート (B=1.50m,H=3.70m × 4)	12.00m	4	12.40m	26° 20′ 15.72″	126° 48′ 49.68″	R4	Ⅲ	I	Ⅲ		Ⅲ	前回の点検に比べ損傷が進行していることから、早期に補修等を行うことが望ましい。
2	銭田橋	謝名堂1号線	1級	2015	単純合成床版橋	39.50m	1	10.25m	26° 19′ 29.64″	126° 48′ 16.56″	R4	I	I	I	I	I	
3	比嘉1号橋	比嘉1号線	1級	不明	RC単純床版橋	8.75m	1	11.00m	26° 20′ 30.84″	126° 48′ 19.44″	R3	Ⅱ	I	Ⅱ	I	Ⅱ	路面の排水不良により橋座の植生や橋台の変色等がある。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
4	比嘉ボックスカルバート橋	比嘉1号線	1級	不明	ボックスカルバート (B=6.05m,H=6.00m)	10.45m	1	11.26m	26° 21′ 01.78″	126° 48′ 26.59″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅳ	路上部の損傷は、歩行者への影響が考えられるため、予防保全の観点から維持工事で措置講ずるのが望ましい。
5	比嘉2号橋	比嘉1号線	1級	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=2.00m)	2.60m	1	14.50m	26° 20′ 28.72″	126° 48′ 19.76″	R3	Ⅱ	Ⅱ	I	I	Ⅱ	カルバート本体に損傷は無い。土砂堆積、植生等は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
6	比嘉3号橋	比嘉6号線	1級	不明	ボックスカルバート (B=1.80m,H=2.00m)	2.40m	1	13.40m	26° 20′ 06.37″	126° 48′ 17.35″	R4	I	I	I	I	I	
7	三栄橋	島尻1号線	1級	1989	PC単純箱桁橋	27.95m	1	10.80m	26° 19′ 50.52″	126° 47′ 44.52″	R4	Ⅱ	I	I	I	Ⅱ	排水ますの土砂詰りは維持工事で対応することが望ましい。
8	島尻1号橋	島尻1号線	1級	不明	ボックスカルバート (B=1.70m,H=1.50m)	2.30m	1	8.00m	26° 19′ 31.44″	126° 48′ 02.88″	R3	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	地覆の幅の広いひびわれについては詳細調査を実施することが望ましい。
9	島尻2号橋	島尻1号線	1級	2011	ボックスカルバート (B=3.50m,H=2.00m)	4.30m	1	8.00m	26° 19′ 23.16″	126° 48′ 15.12″	R3	I	I	I	I	I	
10	島尻3号橋	島尻1号線	1級	不明	2連ボックスカルバート (B=2.00m,H=2.50m × 2)	4.80m	2	6.00m	26° 18′ 29.57″	126° 48′ 11.48″	R3	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	I	Ⅱ	うき、鉄筋露出が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
11	儀間1号橋	儀間1号線	1級	不明	ボックスカルバート (B=3.00m,H=2.50m)	3.60m	1	6.50m	26° 20′ 05.02″	126° 46′ 16.37″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	うき、鉄筋露出が見られる。構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
12	儀間2号橋	儀間1号線	1級	2009	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.50m)	2.30m	1	10.30m	26° 22′ 11.28″	126° 47′ 12.84″	R3	I	I	I	I	I	
13	儀間29号橋	儀間29号線	1級	不明	RC連続床版橋	21.00m	2	6.70m	26° 19′ 51.96″	126° 46′ 13.44″	R3	Ⅱ	Ⅱ	I	I	Ⅱ	路上部には多くの損傷がみられたが、いずれも維持工事で対応可能とみられる。
14	椎名橋	北原椎名線	1級	1976	RC単純T桁橋	11.80m	1	7.20m	26° 20′ 58.49″	126° 45′ 59.76″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	排水不良の影響が床版、橋台等に見られる。予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
15	浦地大橋	北原椎名線	1級	1990	PC連続T桁橋	72.00m	3	7.70m	26° 21′ 02.88″	126° 45′ 23.04″	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	PC定着部と思われる箇所にうきが確認されるため、詳細調査を実施し補修を行うことが望ましい。
16	城跡橋	具志川城跡線	1級	不明	ボックスカルバート (B=1.50m,H=1.50m)	2.00m	1	14.20m	26° 22′ 46.32″	126° 45′ 05.39″	R4	I	I	I		I	
17	比嘉4号橋	比嘉2号線	2級	2021	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.50m)	2.60m	1	9.55m	26° 19′ 54.12″	126° 48′ 10.08″	R4	I	I	I	I	I	
18	比嘉5号橋	比嘉2号線	2級	2022	ボックスカルバート (B=1.80m,H=1.80m)	2.40m	1	9.90m	26° 19′ 58.80″	126° 48′ 05.40″	R4	I	I	I		I	
19	比嘉6号橋	比嘉3号線	2級	不明	ボックスカルバート (B=2.50m,H=2.00m)	2.90m	1	11.60m	26° 20′ 20.06″	126° 47′ 51.17″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	路上部の損傷は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。
20	比嘉7号橋	比嘉3号線	2級	2010	ボックスカルバート (B=4.50m,H=1.75m)	5.10m	1	13.00m	26° 21′ 24.84″	126° 47′ 09.96″	R4	I	I	I	I	I	

調査結果一覧表（2/4）

管理番号	橋梁名	路線名	道路種別	架設年次	構造形式	橋長	径間数	幅員	起点側の位置		最新点検年次	道路橋毎の診断結果	部材単位の診断結果				所 見 等
									緯度	経度			上部構造 （頂版）	下部構造 （側壁）	支承部 （ウイング）	その他	
21	新奥武橋1	奥武島1号線	2級	2007	ポストテンション方式 PC5径間連結T桁橋	170.00m	5	5.45m	26° 20′ 26.52″	126° 49′ 12.72″	R4	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	損傷の進行が確認された。早期に措置を講じることが望ましい。
22	新奥武橋2	奥武島1号線	2級	1996	PC連続中空床版橋	170.00m	5	7.00m	26° 20′ 26.16″	126° 49′ 12.72″	R4	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	損傷の進行が確認された。早期に措置を講じることが望ましい。
23	奥武島1号橋	奥武島1号線	2級	1996	ボックスカルバート (B=8.00m,H=2.50m)	8.70m	1	27.00m	26° 20′ 30.48″	126° 49′ 08.40″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	損傷の進行が確認された。詳細調査を実施し、内部状態および原因を調査し対策するのが望ましい。
24	真我里1号橋	真我里1号線	2級	不明	ボックスカルバート (B=3.50m,H=2.50m)	4.30m	1	15.10m	26° 20′ 19.31″	126° 48′ 25.11″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	頂版の損傷は今後の状況に応じて補修。路上部の防護柵は、安全性の観点から措置を講じることが望ましい。
25	島尻橋	島尻2号線	2級	1983	RC単純T桁橋	14.60m	1	8.20m	26° 18′ 21.93″	126° 48′ 10.10″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	主桁側面にひびわれはみられるが、状態は概ね良好である。
26	島尻4号橋	島尻2号線	2級	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.80m)	2.60m	1	14.00m	26° 17′ 49.57″	126° 48′ 35.90″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	予防保全の観点から防護柵の補修措置を講じることが望ましい。
27	美崎橋	真謝17号線	2級	1996	PC単純スラブ桁橋	8.55m	1	11.10m	26° 21′ 20.89″	126° 48′ 27.21″	R4	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	排水ますの土砂詰り、添架物のボルトに関しては維持工事で対応することが望ましい。
28	儀間31号橋	儀間31号線	2級	不明	ボックスカルバート (B=3.00m,H=2.00m)	3.60m	1	7.10m	26° 20′ 02.40″	126° 46′ 18.48″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	翼壁のひびわれは詳細調査を実施することが望ましい。
29	西銘久間地橋	西銘久間地線	2級	不明	ボックスカルバート (B=1.90m,H=1.90m)	2.40m	1	7.95m	26° 21′ 23.76″	126° 44′ 37.68″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	頂版の幅の広いひびわれについて詳細調査を実施することが望ましい。
30	大田西銘橋	大田西銘線	2級	不明	ボックスカルバート (B=3.00m,H=2.00m)	3.50m	1	7.00m	26° 21′ 13.55″	126° 45′ 03.83″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	前回調査に比べ、損傷が増加しているものの状態は概ね良好である。
31	比屋定1号橋	比屋定4号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.50m,H=0.95m)	2.00m	1	12.00m	26° 22′ 51.96″	126° 46′ 44.04″	R3	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	翼壁上部に剥離が確認されるものの、状態は概ね良好である。
32	比屋定2号橋	比屋定15号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.50m,H=1.25m)	3.40m	1	6.40m	26° 23′ 12.84″	126° 46′ 59.04″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ		Ⅰ	頂版にかぶり不足及び塩害が原因と思われるうきが確認されたものの、状態は概ね良好である。
33	比屋定3号橋	比屋定15号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=3.00m,H=1.20m)	3.60m	1	7.90m	26° 23′ 24.93″	126° 46′ 33.13″	R3	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅱ	地覆上部に剥離、路面の凹凸が確認されるものの、状態は概ね良好である。
34	比屋定4号橋	比屋定15号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.55m,H=1.20m)	3.15m	1	9.40m	26° 23′ 20.94″	126° 46′ 32.90″	R3	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ		Ⅰ	側壁にひび割れが確認されるものの軽微であり損傷は進行していない。状態は概ね良好である。
35	比屋定5号橋	比屋定15号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.50m,H=1.25m)	3.00m	1	5.00m	26° 23′ 09.19″	126° 46′ 53.68″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ		Ⅰ	広範囲で損傷が発生していることから詳細調査により原因の把握、対策を講じることが望ましい
36	上阿嘉3号橋	上阿嘉3号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.50m)	2.60m	1	4.70m	26° 22′ 08.40″	126° 47′ 15.72″	R3	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ		Ⅱ	側壁の損傷は詳細調査により原因の把握、対策を講じることが望ましい。
37	サアタ橋	真謝7号線	その他	2006	PC単純スラブ桁橋	21.00m	1	12.80m	26° 21′ 12.60″	126° 48′ 42.48″	R3	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	高欄ビームが変形しており維持工事で対応することが望ましい
38	真謝ボックスカルバート橋	真謝7号線	その他	2006	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.00m)	2.60m	1	13.65m	26° 21′ 12.24″	126° 48′ 41.40″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
39	真謝1号橋	真謝20号線	その他	1976	RC単純T桁橋	8.00m	1	5.60m	26° 21′ 24.48″	126° 48′ 38.52″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	前回調査後に修繕工事が行われているため、全体的に損傷は軽微である。
40	真謝2号橋	真謝20号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.50m,H=1.00m)	2.10m	1	10.60m	26° 21′ 26.98″	126° 48′ 38.10″	R3	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ		Ⅱ	塩害が原因と思われる損傷が広範囲で確認され、進行も確認された。早期に措置を行うことが望ましい。

調査結果一覧表（3/4）

管理番号	橋梁名	路線名	道路種別	架設年次	構造形式	橋長	径間数	幅員	起点側の位置		最新点検年次	道路橋毎の診断結果	部材単位の診断結果				所 見 等
									緯度	経度			上部構造 （頂版）	下部構造 （側壁）	支承部 （ウイング）	その他	
41	真謝3号橋	真謝20号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.50m,H=1.00m)	2.00m	1	10.50m	26° 21′ 36.41″	126° 48′ 34.31″	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ		Ⅰ	前回の点検に比べ損傷が進行していることから、補修等を行うことが望ましい。
42	真謝4号橋	真謝20号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=3.00m,H=1.50m)	3.40m	1	6.00m	26° 21′ 46.23″	126° 48′ 31.17″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
43	真謝5号橋	真謝20号線	その他	2002	ボックスカルバート (B=3.00m,H=1.30m)	3.40m	1	6.00m	26° 21′ 44.64″	126° 48′ 20.88″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			
44	真謝6号橋	真謝22号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.75m,H=1.75m)	2.15m	1	7.30m	26° 21′ 18.00″	126° 48′ 19.44″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
45	謝名堂2号橋	謝名堂26号線	その他	不明	RC単純T桁橋	12.30m	1	5.60m	26° 20′ 11.40″	126° 48′ 36.46″	R3	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	塩害が原因と思われる損傷が多数確認され、進行も確認された。早期に措置を行うことが望ましい。
46	謝名堂3号橋	謝名堂6号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.80m,H=1.80m)	2.30m	1	7.50m	26° 20′ 07.44″	126° 48′ 28.80″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	
47	謝名堂4号橋	謝名堂6号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.75m,H=1.80m)	2.25m	1	7.50m	26° 20′ 12.12″	126° 48′ 25.92″	R4	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	舗装の異常に関しては維持工事で対応することが望ましい
48	比嘉8号橋	比嘉18号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.80m,H=2.10m)	2.35m	1	6.10m	26° 20′ 23.28″	126° 48′ 04.32″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	翼壁のひびわれ、舗装の陥没は周囲の土砂流出が原因と見られる。予防保全措置を講ずることが望ましい。
49	比嘉9号橋	比嘉19号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.80m,H=1.80m)	2.40m	1	5.50m	26° 20′ 04.24″	126° 48′ 14.27″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	
50	比嘉10号橋	比嘉19号線	その他	2011	ボックスカルバート (B=1.80m,H=1.80m)	2.10m	1	4.40m	26° 19′ 59.67″	126° 48′ 18.17″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
51	比嘉11号橋	比嘉20号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.80m,H=2.10m)	2.40m	1	5.50m	26° 20′ 02.16″	126° 48′ 10.99″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	
52	比嘉12号橋	比嘉20号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.50m,H=2.00m)	2.10m	1	4.40m	26° 19′ 57.63″	126° 48′ 14.85″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	
53	比嘉13号橋	比嘉21号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.80m,H=2.10m)	2.30m	1	5.50m	26° 20′ 24.81″	126° 48′ 09.75″	R3	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	地覆と翼壁に損傷が多く見られる。鉄筋露出もあることから予防保全の措置を講ずることが望ましい。
54	比嘉14号橋	比嘉22号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=2.30m)	3.60m	1	6.50m	26° 20′ 27.24″	126° 48′ 15.84″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	本体にうき、路面の凸凹、翼壁のひびわれが見られる。予防保全措置を講ずることが望ましい。
55	銭田1号橋	銭田1号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.50m)	2.60m	1	5.50m	26° 19′ 39.00″	126° 47′ 57.84″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	
56	銭田2号橋	銭田1号線	その他	2016	プレテンション方式 PC単純ホロー桁橋	17.70m	1	5.20m	26° 19′ 45.12″	126° 47′ 59.64″	R4	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	縦壁に発生しているひびわれは貫通している可能性もあることから、補修を行うことが望ましい。
57	銭田3号橋	銭田1号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.50m,H=2.00m)	3.10m	1	11.53m	26° 19′ 48.36″	126° 48′ 03.96″	R4	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	添架物のボルトに関しては維持工事で対応することが望ましい。
58	銭田4号橋	銭田1号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=1.50m,H=2.00m)	2.00m	1	4.40m	26° 19′ 49.80″	126° 48′ 03.96″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	
59	ウッタ橋	島尻14号橋	その他	不明	RC単純T桁橋	8.77m	1	5.80m	26° 18′ 21.12″	126° 48′ 04.06″	R3	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	塩害が原因と思われる損傷が多数確認され、進行も確認された。早期に措置を行うことが望ましい。
60	真我里2号橋	真我里6号線	その他	2021	プレテンション方式 PC単純ホロー桁橋	13.60m	1	5.20m	26° 19′ 57.00″	126° 47′ 35.88″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	

調査結果一覧表（4/4）

管理番号	橋梁名	路線名	道路種別	架設年次	構造形式	橋長	径間数	幅員	起点側の位置		最新点検年次	道路橋毎の診断結果	部材単位の診断結果				所 見 等
									緯度	経度			上部構造 （頂版）	下部構造 （側壁）	支承部 （ウイング）	その他	
61	真我里3号橋	真我里6号線	その他	不明	2連ボックスカルバート (B=2.25m,H=1.50m × 2)	5.30m	2	4.40m	26° 19′ 48.39″	126° 47′ 29.12″	R3	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	強度低下が原因と思われる損傷が確認された。損傷の進行の恐れがあるため、早期に措置を行うことが望ましい。
62	真我里4号橋	真我里8号線	その他	2022	プレテンション方式 PC単純ホロー桁橋	13.60m	1	5.20m	26° 19′ 54.84″	126° 47′ 39.12″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	
63	真我里5号橋	真我里8号線	その他	不明	2連ボックスカルバート (B=2.25m,H=1.50m × 2)	5.30m	2	4.40m	26° 19′ 46.71″	126° 47′ 32.36″	R4	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	土砂堆積および添架金具の破断は維持工事に対応することが望ましい。
64	真我里6号橋	真我里9号線	その他	不明	2連ボックスカルバート (B=2.50m,H=1.50m × 2)	5.80m	2	5.75m	26° 19′ 53.75″	126° 47′ 40.89″	R3	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	強度低下が原因と思われる損傷が確認された。損傷の進行の恐れがあるため、早期に措置を行うことが望ましい。
65	真我里7号橋	真我里13号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=3.00m,H=1.00m)	3.60m	1	9.00m	26° 19′ 59.15″	126° 47′ 16.53″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
66	真我里8号橋	真我里14号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=3.50m,H=2.00m)	4.00m	1	4.60m	26° 20′ 12.12″	126° 47′ 40.92″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	頂版に剥離・鉄筋露出が確認されたものの局所的であり、状態は概ね良好である。
67	儀間3号橋	儀間32号線	その他	不明	3連ボックスカルバート (B=2.50m,H=1.50m × 3)	8.80m	3	6.75m	26° 20′ 02.25″	126° 46′ 24.43″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	損傷の程度は小さく、損傷の進行は見られない。次回点検時に進行を確認し対策を講じることが望ましい。
68	儀間4号橋	儀間32号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.50m)	2.60m	1	4.60m	26° 20′ 01.68″	126° 46′ 24.24″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
69	儀間5号橋	儀間32号線	その他	不明	11連ボックスカルバート (B=1.50m,H=2.10m × 11)	20.10m	11	6.50m	26° 19′ 40.97″	126° 46′ 12.99″	R4	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ		Ⅱ	前回の点検に比べ損傷が進行していることから、補修等を行うことが望ましい。
70	儀間30号橋	儀間30号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.80m)	2.60m	1	5.85m	26° 20′ 09.18″	126° 46′ 08.67″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
71	儀間37号橋	儀間37号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.50m)	2.60m	1	5.60m	26° 20′ 11.92″	126° 46′ 03.57″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
72	儀間38号橋	儀間38号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.70m)	2.60m	1	5.60m	26° 20′ 06.86″	126° 46′ 12.45″	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ		Ⅰ	前回の点検に比べ損傷が進行していることから、補修等を行うことが望ましい。
73	溝サ橋	溝サ線	その他	不明	ボックスカルバート (B=2.00m,H=2.00m)	2.60m	1	11.50m	26° 21′ 59.04″	126° 44′ 28.32″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
74	牛代橋	嘉手苅牛代線	その他	1972	RC単純T桁橋	9.30m	1	6.60m	26° 20′ 58.92″	126° 46′ 22.08″	R4	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	主桁の鉄筋露出は詳細調査を実施し、原因究明後補修を行うことが望ましい。
75	嘉手苅11号橋	嘉手苅11号線	その他	不明	ボックスカルバート (B=3.50m,H=1.50m)	4.10m	1	5.40m	26° 20′ 14.28″	126° 45′ 47.52″	R4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	
76	西銘新田橋	西銘新田線	その他	不明	RC単純T桁橋	5.70m	1	4.70m	26° 20′ 57.59″	126° 45′ 04.42″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	支承機能に劣化が見られるもののその他の損傷の進行は見られない。状況に応じて対策を講じることが望ましい。
77	ミーフガー橋	ミーフガー線	その他	2003	ボックスカルバート (B=2.00m,H=1.20m)	2.60m	1	10.50m	26° 23′ 05.93″	126° 45′ 09.11″	R4	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅱ	転落防止柵の欠損は維持工事に対応することが望ましい。
78	白瀬橋	白瀬橋線	その他	1985	PC連続T桁橋	38.90m	2	6.50m	26° 20′ 28.90″	126° 45′ 36.94″	R3	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	うき、遊離石灰、伸縮装置からの漏水が見られる。予防観点から措置を講ずることが望ましい。
79	比屋定6号橋	比屋定3号線	その他	不明	PC単純床版橋	5.80m	1	4.60m	26° 22′ 52.32″	126° 47′ 17.52″	R3	Ⅲ	Ⅲ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	塩害が原因と思われる損傷が広範囲で確認され、進行も確認された。早期に措置を行うことが望ましい。

対象橋梁別事業計画一覧表（1/4）

管理 番号	橋 梁 名	架 設 年 次	共 用 年 数	橋 長	最 新 点 検 年 次	判 定 区 分	主 な 措 置 内 容	着 手 予 定 年 度	完 了 予 定 年 度	対 策 に 係 る 概 算 費 用 (百万円)	対策の内容・時期										主 な 対 策 内 容
											2023年 令和5年		2024年 令和6年		2025年 令和7年		2026年 令和8年		2027年 令和9年		
1	謝名堂1号橋	不明	50	12.00m	R4	Ⅲ	修繕	R6	R7	18.0			設計費	6.00	修繕	12.00			定期点検	1.60	断面修復等
2	銭田橋	2015	7	39.50m	R4	I	－												定期点検	0.50	
3	比嘉1号橋	不明	37	8.75m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
4	比嘉ボックスカルバート橋	不明	37	10.45m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
5	比嘉2号橋	不明	37	2.60m	R3	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
6	比嘉3号橋	不明	43	2.40m	R4	I	－										定期点検	0.50			
7	三栄橋	1989	33	27.95m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
8	島尻1号橋	不明	43	2.30m	R3	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
9	島尻2号橋	2011	11	4.30m	R3	I	－												定期点検	0.50	
10	島尻3号橋	不明	39	4.80m	R3	Ⅲ	修繕	R5	R6	29.0	設計費	6.00	修繕	23.00			定期点検	0.80			断面修復等
11	儀間1号橋	不明	50	3.60m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
12	儀間2号橋	2009	13	2.30m	R3	I	－										定期点検	0.50			
13	儀間29号橋	不明	50	21.00m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.80			
14	椎名橋	1976	46	11.80m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
15	浦地大橋	1990	32	72.00m	R4	Ⅱ	－												定期点検	1.20	
16	城跡橋	不明	50	2.00m	R4	I	－												定期点検	0.50	
17	比嘉4号橋	2021	1	2.60m	R4	I	－					町道整備事業にて更新							定期点検	0.50	
18	比嘉5号橋	2022	0	2.40m	R4	I	－					町道整備事業にて更新							定期点検	0.50	
19	比嘉6号橋	不明	34	2.90m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
20	比嘉7号橋	2010	12	5.10m	R4	I	－												定期点検	0.50	

対象橋梁別事業計画一覧表（2/4）

管理 番号	橋 梁 名	架 設 年 次	共 用 年 数	橋 長	最 新 点 検 年 次	判 定 区 分	主 な 措 置 内 容	着 手 予 定 年 度	完 了 予 定 年 度	対 策 に 係 る 概 算 費 用 (百万円)	対策の内容・時期										主 な 対 策 内 容
											2023年 令和5年		2024年 令和6年		2025年 令和7年		2026年 令和8年		2027年 令和9年		
21	新奥武橋1	2007	15	170.00m	R4	Ⅲ	修繕	R8	R9	67.0							設計費	14.00	定期点検・ 修繕	53.00	断面修復・支承交換等
22	新奥武橋2	1996	26	170.00m	R4	Ⅲ	修繕	R7	R8	67.0					設計費	14.00	修繕	50.00	定期点検	3.00	断面修復・支承交換等
23	奥武島1号橋	1996	26	8.70m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
24	真我里1号橋	不明	45	4.30m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
25	島尻橋	1983	39	14.60m	R3	Ⅱ	修繕	R1	R2								定期点検	0.50			
26	島尻4号橋	不明	39	2.60m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
27	美崎橋	1996	26	8.55m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
28	儀間31号橋	不明	50	3.60m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
29	西銘久間地橋	不明	50	2.40m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
30	大田西銘橋	不明	50	3.50m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
31	比屋定1号橋	不明	50	2.00m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
32	比屋定2号橋	不明	50	3.40m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
33	比屋定3号橋	不明	50	3.60m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
34	比屋定4号橋	不明	50	3.15m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
35	比屋定5号橋	不明	50	3.00m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
36	上阿嘉3号橋	不明	50	2.60m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
37	サアタ橋	2006	16	21.00m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
38	真謝ボックスカルバート橋	2006	16	2.60m	R4	I	－												定期点検	0.50	
39	真謝1号橋	1976	46	8.00m	R3	Ⅱ	修繕	R1	R2								定期点検	0.50			
40	真謝2号橋	不明	46	2.10m	R3	Ⅲ	更新	R5	R6	14.0	設計費	6.00	更新	8.00			定期点検	0.50			更新

対象橋梁別事業計画一覧表 (3/4)

管理 番号	橋 梁 名	架 設 年 次	共 用 年 数	橋 長	最 新 点 検 年 次	判 定 区 分	主 な 措 置 内 容	着 手 予 定 年 度	完 了 予 定 年 度	対 策 に 係 る 概 算 費 用 (百万円)	対策の内容・時期										主 な 対 策 内 容
											2023年 令和5年		2024年 令和6年		2025年 令和7年		2026年 令和8年		2027年 令和9年		
41	真謝3号橋	不明	46	2.00m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
42	真謝4号橋	不明	46	3.40m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
43	真謝5号橋	2002	20	3.40m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
44	真謝6号橋	不明	47	2.15m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
45	謝名堂2号橋	不明	45	12.30m	R3	Ⅲ	修繕	R6	R7	26.0			設計費	6.00	修繕	20.00	定期点検	0.50			断面修復等
46	謝名堂3号橋	不明	41	2.30m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
47	謝名堂4号橋	不明	43	2.25m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
48	比嘉8号橋	不明	50	2.35m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
49	比嘉9号橋	不明	43	2.40m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
50	比嘉10号橋	2011	11	2.10m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
51	比嘉11号橋	不明	43	2.40m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
52	比嘉12号橋	不明	41	2.10m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
53	比嘉13号橋	不明	50	2.30m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
54	比嘉14号橋	不明	50	3.60m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
55	銭田1号橋	不明	43	2.60m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
56	銭田2号橋	2016	6	17.70m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
57	銭田3号橋	不明	43	3.10m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
58	銭田4号橋	不明	43	2.00m	R4	Ⅰ	－												定期点検	0.50	
59	ウッタ橋	不明	41	8.77m	R3	Ⅲ	修繕	R3	R4								定期点検	0.50			
60	真我里2号橋	2021	1	8.70m	R4	Ⅰ	更新					排水路事業にて更新							定期点検	0.50	

対象橋梁別事業計画一覧表（4/4）

管理 番号	橋 梁 名	架 設 年 次	共 用 年 数	橋 長	最 新 点 検 年 次	判 定 区 分	主 な 措 置 内 容	着 手 予 定 年 度	完 了 予 定 年 度	対 策 に 係 る 概 算 費 用 (百万円)	対策の内容・時期										主 な 対 策 内 容
											2023年 令和5年		2024年 令和6年		2025年 令和7年		2026年 令和8年		2027年 令和9年		
61	真我里3号橋	不明	45	5.30m	R3	Ⅲ	更新	R5	R6	31.0	設計費	8.00	更新	23.00			定期点検	0.80			更新
62	真我里4号橋	2022	0	8.70m	R4	I	更新					排水路事業にて更新							定期点検	0.50	
63	真我里5号橋	不明	45	5.30m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.80	
64	真我里6号橋	不明	45	5.80m	R3	Ⅲ	更新	R5	R6			排水路事業にて更新計画					定期点検	0.80			
65	真我里7号橋	不明	42	3.60m	R4	I	－												定期点検	0.50	
66	真我里8号橋	不明	41	4.00m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
67	儀間3号橋	不明	50	8.80m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
68	儀間4号橋	不明	50	2.60m	R4	I	－												定期点検	0.50	
69	儀間5号橋	不明	50	20.10m	R4	Ⅱ	－												定期点検	1.60	
70	儀間30号橋	不明	50	2.60m	R4	I	－												定期点検	0.50	
71	儀間37号橋	不明	50	2.60m	R4	I	－												定期点検	0.50	
72	儀間38号橋	不明	50	2.60m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
73	溝サ橋	不明	50	2.60m	R4	I	－												定期点検	0.50	
74	牛代橋	1972	50	9.30m	R4	Ⅱ	－					集約化・撤去の検討対象となる橋梁							定期点検	0.50	
75	嘉手苧11号橋	不明	50	4.10m	R4	I	－												定期点検	0.50	
76	西銘新田橋	不明	50	5.70m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.50			
77	ミーフガー橋	2003	19	2.60m	R4	Ⅱ	－												定期点検	0.50	
78	白瀬橋	1985	37	38.90m	R3	Ⅱ	－										定期点検	0.80			
79	比屋定6号橋	不明	50	5.80m	R3	Ⅲ	更新	R3	R4								定期点検	0.50			
合 計（百万円）									252.0		20.0		66.0		46.0		84.0		79.2		

今後5年間に要する概算費用： ￥ 295,200,000

※補修等工事の前には、調査設計を行い詳細な補修方法を決定するため、一覧表の補修内容及び概算補修費用は変更になる場合があります。
※補修等工事の予定橋梁については、今後の補修の実施状況、補修技術の進展、財政事情や社会情勢の変化等を反映し、適宜見直します。